

【主な取扱商品】

上海:数の子、さくらえび、果実缶詰、甘栗、ポリ袋各種、通販商品他

青島:水産フライ、冷凍野菜、数の子、通販商品他

【輸出コンテナ数】2022年度実績

20F 228本、40F 107本
(通販商品の実績は含まず)

【事務所より】

日本生協連の直輸入受託商品・非受託商品の製造に関わる、原料・資材・加工工程・出荷・運送など全般的な品質管理を対応しています。抱負としては、組合員さんの満足度を高める為に「海外ならではの」商品の開発を行い、提供すること。お申し出を削減すること。日本生協連の輸入品事業計画に積極的に貢献し、提供するサービスレベルを高めていくこと。時代の流れと共に、エシカルやフードディフェンスの観点で食品品質安全保証活動を行うことや、RSPO認証やMSC認証など環境に優しい商品を作ること。これらを念頭を置きながら、丁寧な業務活動を心がけていきたいと考えています。

代表的な取扱商品



CO・OP サクッと白身魚フライ



CO・OP 冷凍きくらげ



CO・OP 半透明ごみ袋



冷感×綿パイルリバーシブル (通販商品)

ポローニャ事務所 [2名]

【主な取扱商品】

パスタ、オリーブオイル、トマト缶・パック、冷凍ピザ等

【輸出コンテナ数】2022年度実績

20F 40本、40F 90本

【事務所より】

安心で安全な食品のみの出荷をめざすとともに、新たな商品のリサーチと開発をおこない、組合員さんに喜んでもらえるよう業務を行っております。日本ではまだ知られていない料理レシピや食品がイタリアにはまだ沢山あることから、「日本生協連だからこそイタリアでこの商品」と言われる商品の開発を夢見ています。2023年度は原料調査を深堀して、原料産地情報の発信を強め、組合員さんに既存商品の良さを、より一層伝えてゆきたいです。

代表的な取扱商品



CO・OP イタリアスパゲッティ



CO・OP イタリア産あらごしトマト

コープトレード・アメリカ (CTA)

【主な取扱商品】

冷凍野菜、冷凍果実、原料大豆、コーン缶、アーモンド、数の子原料他

【輸出コンテナ数】2022年度実績

20F 67本、40F 20本

代表的な取扱商品



CO・OP ミックスベジタブル



CO・OP 数の子

株式会社 コープトレード・ジャパンのご案内

2023-2024

ご挨拶

いつも、株式会社コープトレード・ジャパンの事業にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度、弊社は、原料高、エネルギー価格高や円安などの影響を受けて、大半の商品の値上げを余儀なくされました。売上高換算では前年にわずかに届きませんでしたが、そのなかでも、商品の新発売やリニューアルは予定通り進めており、今年度の成長の準備をすることができています。改めて、みなさまの製造、品質管理など幅広い分野でのご理解、ご協力に対して、厚く御礼を申し上げます。

当社が経営の根幹としているのは、「全国の会員生協・組合員に、『海外でないと作れない・海外ならではの』の商品を、安定した品質と適正な価格でお届けし、喜んでいただく」という社の基本方針です。また、製品とともに、生産国の文化もお届けしたいと思っています。

当社の主力事業であるCO・OP商品は、商品の安全、品質の高さ、お求めやすい価格を要件とし、環境配慮、人権尊重を重視しており、当社としては、それを実現することがお取引先、製造工場の関係者、利用する生協組合員の喜びにつながるよう努力しています。そのためにも、製品を製造、供給する方々と利用する消費者、生協組合員の信頼、声の循環を重視し、お互いを思いやり、感謝する関係づくりを大事にしています。生協組合員からは、製品の不具合についてのお申し出だけでなく、利用されたご感想やエピソード、思い出などの多くの声をいただき、みなさまと共有しています。

今年度も、関係先とのパートナーシップを進めてまいりたいと考えます。どうぞ、よろしくお願い致します。



株式会社コープトレード・ジャパン
代表取締役社長 山本 克哉

会社沿革

- 1956年 前身である日本協同組合貿易(株)設立
- 1960年 オホーツクにしん輸入開始
- 1971年 カナダ漁協との取引開始
- 1973年 無漂白数の子発売開始
- 1976年 フィリピンより海老輸入開始
- 1981年 イタリアスパゲッティ発売開始、米国冷凍野菜発売開始
- 1987年 中国事務所(上海)設立
- 1989年 バンコク事務所、シアトル事務所設立
- 1997年 (株)コープトレード・ジャパン設立
- 2000年 シンガポール事務所設立、シアトル事務所法人化
- 2007年 ホーチミン事務所設立、中国家庭用雑貨輸入開始
- 2008年 中国事務所(青島)設立、タイ鶏肉加工品発売開始
- 2009年 イタリアオリーブオイル発売開始
- 2012年 イタリア紙パックトマト発売開始
- 2016年 イタリア冷凍ピザ発売開始、タイツナ缶発売開始
- 2017年 インドネシア産キッチン用ポリ袋発売開始
- 2018年 ポローニャ事務所設立
- 2020年 ASC認証・サラダえび発売開始
- 2021年 MSC認証・白身魚フライ発売開始

会社概要

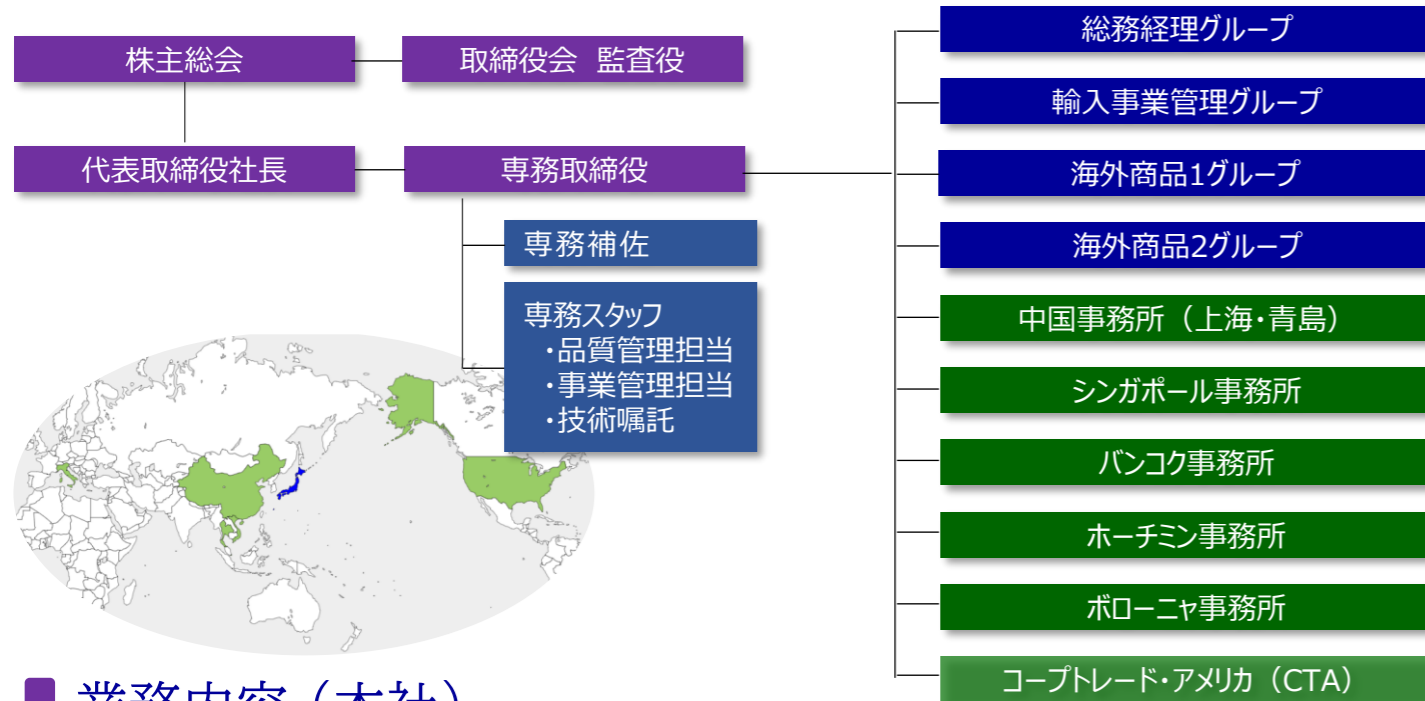
社名	株式会社 コープトレード・ジャパン	
資本金	2,000万円	
主な事業内容	日本生協連との業務委託契約に基づき ・直輸入するCO・OP商品の開発・調達 ・輸入決済・品質管理業務・事業収支管理 ・CO・OP商品に利用する原料の調達・販売業務 ・日本生協連通販事業で取り扱う商品の品質管理等	
拠点	本社及び海外6国7拠点	
代表取締役社長 専務取締役 取締役 監査役	山本 克哉 櫻井 公人 大西 伸一 柳田 朗浩	楊 晨達

事務所所在地

- 本社
 - 中国事務所(上海)
 - 中国事務所(青島)
 - シンガポール事務所
- バンコク事務所
- ホーチミン事務所
- ポローニャ事務所
- コープトレード・アメリカ(株)
- 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ
- 中国上海市静安区延安中路841号1708
- 中国青島市市南区香港中路10号 頤和国际大厦A座23A-10室
- 420 North Bridge Road #05-10 North Bridge Centre Singapore 188727 Rep. Of Singapore
- ITF TOWER II, 18th Floor 140/39 Silom Road Suriyawong Bangrak, Bangkok 10500 Thailand
- Unit 103, Vital Building. 16 Dang Tat St., Dist 1, Ho Chi Minh City, Viet Nam
- Office No.412 REGUS BOLOGNA, Central Station Viale Masini 12/14 6th Floor BOLOGNA, 40126 Italy
- 1420 5th Ave. Suite 2200, Seattle, WA 98101 USA

体制図

(株)コープトレード・ジャパンは、日本の本社に4グループ、海外に6事務所(6国7拠点)を構えています。



業務内容 (本社)

海外商品1・2グループ [7名]

日本生協連が直輸入するコープ商品や原材料の開発・再開発、調達、品質管理、お取引先との契約業務を担い、1グループは欧州、東南アジア(タイ)を、2グループは中国、東南アジア(ベトナム、インドネシア)、オセアニア、米国を担当しています。

日本の消費者(生協組合員)に、「海外でないと作れない・海外ならではの」の商品を、安定した品質と適正な価格でお届けするのが私たちの役割です。生協のプライベートブランド商品ですので特にお取引先様には、品質点検に加えて、商品の詳細な情報提供をお願いしています。

具体的には以下のような業務を行っています。

- 1) 商品の契約・発注業務
- 2) 使用原料・包材等のトレーサビリティ・品質の確認
- 3) 商品が仕様書通りに製造されているかの製造立会い確認
- 4) 商品の検品
- 5) 新規商品開発業務、展示会などを通じたマーケット調査業務
- 6) お取引先との定期的な商談



輸入事業管理グループ [9名]

直輸入商品の輸入の通関実務を担っています。通関後の商品を会員生協へ納品したり、日本生協連の指定倉庫に入庫し、同時に仕入価格確定の事業データや会計データを作成して日本生協連に受け渡す業務を行っています。2014年度より直輸入商品の一部商品の発注起案から在庫や物流費の管理など日本生協連の事業管理を担っており、海外商品グループ、日本生協連商品本部と連携し、収支を視点にした直輸入事業の改善を実施しています。



総務経理グループ [7名]

(株)コープトレード・ジャパンの管理部門として以下の業務を担っています。

- 1) 予算管理と会計処理
- 2) 直輸入商品の対外決済処理・為替予約締結・会計処理
- 3) 本社・海外事務所の総務・広報・庶務

業務内容 (海外事務所)

海外事務所は、日本生協連の直輸入品の生産立会い、出荷前検品など、製造委託先管理が主な業務です。(一部、商社経由のCO・OP商品についても対応。)組合員のお申し出が発生した場合には、現地では取引先と共に原因を追究の上、改善対策を検討し、CO・OP商品の品質向上に貢献しています。また、新商品の開発に向けて展示会等での情報収集や新規工場の調査、試作品の検討等、多岐にわたる業務を行っています。

バンコク事務所 [5名]

【主な取扱商品】

鶏肉加工品、ツナ缶、えび加工品、冷凍たこ焼、冷凍いんげん他

【輸出コンテナ数】2022年度実績

20F 14本、40F 271本

【事務所より】

原料に近いものから加工品まで、いつも安全で美味しい商品を組合員さんにお届けしようと日々取り組んでいます。組合員さんから「よかった」の声を頂いた時や、取引先と協力して問題を克服できた時は、特に嬉しいです。仕事を通してメンバーひとりひとりが成長出来る様、頑張っています。

代表的な取扱商品



CO・OP 和風若鶏竜田揚げ



CO・OP サラダえび

シンガポール事務所 [3名]

【主な取扱商品】

えび加工品各種、ポリ袋他

【輸出コンテナ数】2022年度実績

20F 7本、40F 159本

【事務所より】

シンガポール事務所では、スタッフ三名がインドネシアのエビ生産地で生産立会いや指導、工場点検、出荷検品を行っています。2018年よりキッチン用ポリ袋の点検も加わりました。原料を厳選し、衛生管理を徹底して、安全・安心のCO・OP商品を日本の組合員さんへ、安定的にお届けしたいと願っています。

代表的な取扱商品



CO・OP サクッとプリプリえびフライ

ホーチミン事務所 [4名]

【主な取扱商品】

えび加工品各種、ピザ、さば製品、通販商品他

【輸出コンテナ数】2022年度実績

20F 2本、40F 16本
(さば・通販商品の実績は含まず)

【事務所より】

ベトナムの工場で行う生産立会い及び検品・検食の際に、「美味しいものを組合員さんに喜んで利用いただきたい！」という事を各メンバーが心から願い、いつも丁寧な仕事を心がけています。

代表的な取扱商品



CO・OP 窯焼きピッツァマルゲリータ